

## 参考文献

### 1 章

#### 第 1 節について

相田政志 (2012) 「我が国の電子部品・デバイスの生産動向」 マンスリートピックス No.013 (2012 年 11 月)

( [http://www5.cao.go.jp/keizai3/monthly\\_topics/2012/1116/topics\\_013.pdf](http://www5.cao.go.jp/keizai3/monthly_topics/2012/1116/topics_013.pdf) )

浅子和美、宮川努編 (2007) 『日本経済の構造変化と景気循環』、東京大学出版会  
石崎寛憲 川本卓司 (2006) 「近年の製造業の設備投資増加について」 『日銀レビュー』、2006 年 11 月

( [http://www.boj.or.jp/research/wps\\_rev/rev\\_2006/data/rev06j17.pdf](http://www.boj.or.jp/research/wps_rev/rev_2006/data/rev06j17.pdf) )

木村武・足立正道 (1998) 「在庫変動と景気循環 生産・在庫管理技術の発達を巡って」 『日本銀行月報』1998 年 4 月号

佐久間隆、増島稔、前田佐恵子、符川公平、岩本光一郎 (2011) 「短期日本経済マクロモデル (2011 年版) の構造と乗数分析」 ESRI Discussion Paper Series No.259 (2011 年 1 月)

( [http://www.esri.go.jp/jp/archive/e\\_dis/e\\_dis260/e\\_dis259b.pdf](http://www.esri.go.jp/jp/archive/e_dis/e_dis260/e_dis259b.pdf) )

内閣府 (2009) 『平成 23 年度 年次経済財政報告』

( <http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je09/09b00000.html> )

内閣府 (2011) 『平成 23 年度 年次経済財政報告』

( <http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je11/11b00000.html> )

内閣府 (2012a) 『平成 24 年度 年次経済財政報告』

( <http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je12/12.html> )

内閣府 (2012b) 「経済財政の中長期試算」

( <http://www5.cao.go.jp/keizai3/econome/h24chuuchouki8.pdf> )

#### 第 2 節について

関西電力株式会社 (2012) 「電気料金の値上げ申請について」

( [http://www.kepc.co.jp/pressre/2012/pdf/1126\\_2j\\_01.pdf](http://www.kepc.co.jp/pressre/2012/pdf/1126_2j_01.pdf) )

九州電力株式会社 (2012) 「電気料金値上げ申請の概要について」

( [http://www.kyuden.co.jp/library/pdf/rate\\_application/cost\\_b.pdf](http://www.kyuden.co.jp/library/pdf/rate_application/cost_b.pdf) )

経済産業省 (2012) 「避難指示区域と警戒区域の概念図 (平成 24 年 7 月 31 日現在)」

( [http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/120731/20120731\\_01f.pdf](http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/120731/20120731_01f.pdf) )

公益財団法人総合研究開発機構(2012)「データが語る被災3県の現状と課題

東日本大震災復旧・復興インデックス(2012年6月更新)」

( <http://www.nira.or.jp/pdf/1203report.pdf> )

電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議(2012a)「今夏の電力需給対策について」

( [http://www.meti.go.jp/setsuden/pdf/120518/supply\\_120518\\_01d.pdf](http://www.meti.go.jp/setsuden/pdf/120518/supply_120518_01d.pdf) )

電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議(2012b)「今夏の節電目標の改定方針について」

( [http://www.meti.go.jp/setsuden/pdf/supply\\_120626\\_01a.pdf](http://www.meti.go.jp/setsuden/pdf/supply_120626_01a.pdf) )

電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議(2012c)「大飯原子力発電所4号機の再起動に伴う節電目標の見直しについて」

( [http://www.meti.go.jp/setsuden/pdf/20120726\\_01.pdf](http://www.meti.go.jp/setsuden/pdf/20120726_01.pdf) )

電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議 需給検証委員会(2012a)「需給検証委員会報告書」

( [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/electricity\\_supply/20120517/siryou1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/electricity_supply/20120517/siryou1.pdf) )

電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議 需給検証委員会(2012b)「今冬の需給見通し」

( <http://www.npu.go.jp/policy/policy09/pdf/20121012/shiryu4-1.pdf> )

東京電力株式会社「認可料金の概要について」

( [http://www.tepco.co.jp/cc/press/betu12\\_j/images/120725j0201.pdf](http://www.tepco.co.jp/cc/press/betu12_j/images/120725j0201.pdf) )

内閣府(2012a)『平成24年度 年次経済財政報告』

( <http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je11/11b00000.html> )

内閣府政策統括官(経済財政分析担当)(2011)「日本経済2011-2012-震災からの復興と対外面のリスク - 」

( <http://www5.cao.go.jp/keizai3/2011/1221nk/nk11.html> )

### 第3節について

経済企画庁(1999)「平成11年度年次経済報告」

財務省理財局財政投融资総括課(2011)「リーマン・ショック後の経済金融危機における財政投融资の対応」, 2011年6月

竹澤康子、松浦克己、堀雅博(2004)「中小企業金融円滑化策と倒産・代位弁済の相互関係 - EC3SLS による都道府県別パネル分析 - 」『ESRI Discussion Paper

- Series』 No.87、内閣府経済社会総合研究所  
中小企業庁（2011）「中小企業白書 2011 年版」  
中小企業庁（2012）「中小企業白書 2012 年版」  
東京商工会議所（2012）「中小企業金融に関するアンケート調査結果」  
中小企業金融専門委員会、2012 年 8 月  
東京商工リサーチ（2012）「国内 410 金融機関（2012 年 3 月末時点） 「中小企業金融円滑化法」に基づく返済猶予の実績調査」『データを読む』、2012 年 7 月  
星岳雄（1997）「資本市場の不完全性と金融政策の波及経路 最近の研究成果の展望」『金融研究第』、第 16 巻第 1 号、1997 年 3 月  
渡辺努、植杉威一郎（2008）『検証 中小企業金融』、日本経済新聞出版社 2008.9）  
Bernanke, B. S. and Blinder, A. S. (1988). “Credit, Money and Aggregate Demand.” *The American Economic Review*, Vol.78, No.2, Papers and Proceedings of the One-Hundredth Annual Meeting of the American Economic Association (May, 1988), pp.435-439.  
Bernanke, B. S. and Blinder, A. S. (1992). “The Federal Funds Rate and the Channels of Monetary Policy Transmission.” *American Economic Review*, Vol.82, No.4, pp.901-921.  
Bernanke, B. S. and Gertler, M. (1995). “Inside the Black Box: The Credit Channel of Monetary Policy Transmission.” *Journal of Economic Perspective*, Vol.9, No.4. pp.27-48.

## 2 章

### 第 1 節について

厚生労働省 (2008) 『平成 20 年版 労働経済の分析 働く人の意識と雇用管理の動向』

(<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/08/>)

内閣府 (2001) 『平成 13 年度 年次経済財政報告』

(<http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je01/wp-je01-000i1.html>)

内閣府 (2010) 『平成 22 年度 年次経済財政報告』

(<http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je10/10b00000.html>)

内閣府 (2012a) 『平成 24 年度 年次経済財政報告』

(<http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je12/12.html>)

内閣府政策統括官 (経済財政分析担当) (2011) 『日本経済 2011 2012 - 震災からの復興と対外面のリスク -』

(<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2011/1221nk/nk11.html>)

Baig Taimur (2003) “ Understanding the Costs of Deflation in the Japanese Context,” IMFWP/03/215, IMF, Washington D.C.

(<http://www.imf.org/external/pubs/ft/wp/2003/wp03215.pdf>)

### 第 2 節について

Funke, Norbert, Eleonara Granziera, and Patrick Imam (2008) “ Terms of Trade Shocks and Economic Recovery,” IMFWP/08/36, IMF, Washington D.C.

(<http://www.imf.org/external/pubs/ft/wp/2008/wp0836.pdf>)

相田政志 (2012) 「我が国の電子部品・デバイスの生産動向」 マンスリー・トピックス No.013 内閣府 (2012 年 11 月)

([http://www5.cao.go.jp/keizai3/monthly\\_topics/2012/1116/topics\\_013.pdf](http://www5.cao.go.jp/keizai3/monthly_topics/2012/1116/topics_013.pdf))

デフレ脱却等経済状況検討会議 (2012) 『第一次報告』 (2012 年 7 月)

([http://www5.cao.go.jp/keizai1/deflation/2012/0710\\_1st\\_report.pdf](http://www5.cao.go.jp/keizai1/deflation/2012/0710_1st_report.pdf))

佐久間隆、増島稔、前田佐恵子、符川公平、岩本光一郎 (2011) 「短期日本経済マクロモデル (2011 年版) の構造と乗数分析」 ESRI Discussion Paper Series No.259 (2011 年 1 月)

([http://www.esri.go.jp/jp/archive/e\\_dis/e\\_dis260/e\\_dis259b.pdf](http://www.esri.go.jp/jp/archive/e_dis/e_dis260/e_dis259b.pdf))

内閣府政策統括官（経済財政分析担当）（2009）「為替変動の輸出物価への影響分析 - 為替転嫁率に影響する要因は何か - 」『政策課題分析シリーズ』5（2009年10月）

（<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2009/1030seisakukadai05-0.pdf>）

内閣府政策統括官（経済財政分析担当）（2011）『日本経済 2011 - 2012 - 震災からの復興と対外面のリスク - 』

（<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2011/1221nk/nk11.html>）

### 第3節について

加納悟（2006）『マクロ経済分析とサーベイデータ（一橋大学経済研究業書 54）』、岩波書店

鎌田康一郎・吉村研太郎（2010）「企業の価格見通しの硬直性：短観 DI を用いた分析」日本銀行ワーキングペーパーシリーズ No.10-J-3（[http://www.boj.or.jp/research/wps\\_rev/wps\\_2010/wp10j03.htm/](http://www.boj.or.jp/research/wps_rev/wps_2010/wp10j03.htm/)）

木下怜子（2012）「2001年以降のU L Cの変化要因」『今週の指標』 No.1051（2012年11月26日）

（<http://www5.cao.go.jp/keizai3/shihyo/2012/1126/1051.html>）

戸田卓宏・帯刀雅弘（2012）「賃金の動向とその物価への影響について」マンスリー・トピックス No.008 内閣府（2012年6月）

（[http://www5.cao.go.jp/keizai3/monthly\\_topics/2012/0614/topics\\_008.pdf](http://www5.cao.go.jp/keizai3/monthly_topics/2012/0614/topics_008.pdf)）

市橋寛久（2012）「最近の消費者物価の動向」『今週の指標』 No.1046（2012年10月22日）

（<http://www5.cao.go.jp/keizai3/shihyo/2012/1022/1046.html>）

内閣府（2007）『平成 19 年度 年次経済財政報告』

（<http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je07/07b00000.html>）

内閣府（2009）『平成 21 年度 年次経済財政報告』

（<http://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je09/09b00000.html>）

内閣府（2012b）「デフレを生きやすい経済循環」（2012年4月）

（[http://www5.cao.go.jp/keizai1/deflation/2012/0413\\_5\\_junkan.pdf](http://www5.cao.go.jp/keizai1/deflation/2012/0413_5_junkan.pdf)）

内閣府政策統括官（経済財政分析担当）（2010）『日本経済 2011 - 2012 - 景気「再起動」の条件 - 』

（<http://www5.cao.go.jp/keizai3/2010/1210nk/10-00000.html>）

## 第3章

### 第1節について

- 大塚哲洋(2011)「製造業の海外展開について～日本の製造業は空洞化しているのか」『みずほレポート』2011年3月29日号
- 経済産業省(2007)『通商白書2007』
- 経済産業省(2008)『通商白書2008』
- 経済産業省(2010)『通商白書2010』
- 経済産業省(2012)『通商白書2012』
- 経済産業省、厚生労働省、文部科学省(2011)『2011年版ものづくり白書』
- 財務省東海財務局経済調査課他(2012)「円高及び欧州の経済変動が東海地域に与える影響についての分析」財務省東海財務局経済調査課 Working Paper
- 桜健一・岩崎雄斗(2012)「海外生産シフトを巡る論点と事実」『BOJ Reports & Research Papers』2012年1月、日本銀行
- 富浦英一(2010)「日本企業の海外アウトソーシング - ミクロ・データによる分析 - 」、RIETIポリシー・ディスカッションペーパー、No10-P-020
- 内閣府政策統括官(経済財政分析担当)(2011)「日本経済2011-2012」
- 中村吉明・渋谷稔(1994)『空洞化現象とは何か』通商産業省通商政策研究所研究シリーズVol.23.
- 日本貿易振興機構(ジェトロ)海外調査部(2011)「平成22年度第1回サービス産業の海外事業実態調査」
- 深尾京司・袁堂軍(2001)「日本の対外直接投資と空洞化」RIETI Discussion Paper Series 01-J-003
- 深尾京司・程勳(1997)「日本企業の海外生産活動と貿易構造」浅子和美・大瀧雅之編『現代マクロ経済動学』東京大学出版会所収
- 古金義洋(2012)「企業の海外進出が雇用に及ぼす影響について～米国の経験からみた空洞化問題の一考察～」社団法人農協共済総合研究所共済総合研究第64号
- 松浦寿幸(2011)「空洞化 海外直接投資で空洞化は進んだか?」、日本労働研究雑誌、No.609、pp.18-21
- 若杉隆平(2009)『国際経済学第3版』岩波書店
- Blonigen, B., A. (2001) "In search of substitution between foreign production and exports," *Journal of International Economics* 53, pp.81-104
- Head, K. and Ries, J. (2001) "Overseas investment and firm exports," *Review of International Economics* 9(1), pp.108-122

- Hijizen, A., Inui, T., Todo, Y. (2007) “The effects of multinational production on domestic performance: Evidence from Japanese firms,” *RIETI discussion paper* No. 07-E-006
- Matsuura, T., Motohashi, K., Hayakawa, K. (2008) “How does FDI in East Asia affect performance at home?: Evidence from electrical machinery manufacturing firms,” *RIETI discussion paper* No. 08-E-034
- Navaretti, G. B. and Venables, A. J. (2004). *Multinational Firms in the World Economy*, Princeton University Press
- Yamashita, N. and Fukao, K. (2009). “Expansion Abroad and Jobs at Home: Evidence from Japanese Multinational Enterprises.” *Asia Pacific Economic Paper* No. 377.

## 第2節について

- 伊藤雄一郎・稲場広記・尾崎直子・関根敏隆（2011）「実質実効為替レートについて」『日銀レビュー』2011-J-1、日本銀行
- 鈴木俊光、符川公平（2012）「日本企業の海外生産シフトの雇用等への影響について」内閣府マンスリートピックス No.11
- 内閣府（2009）「平成21年度年次経済財政報告」
- 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）（2010）「日本経済2011 - 2012 ~ 震災からの復興と対外面のリスク ~」
- （財）日本生産性本部（2009）「産業別生産性レポート<自動車産業編>」産業別生産性レポート No. 1
- 深尾京司（2012）『「失われた20年」と日本経済 構造的な原因と再生への原動力の解明』、日本経済新聞出版社
- 古金義洋（2012）「企業の海外進出が雇用に及ぼす影響について～米国の経験からみた空洞化問題の一考察～」社団法人農協共済総合研究所共済総合研究第64号
- 布袋正樹、梅崎知恵（2012）「近年の円高が我が国製造業の設備投資に及ぼした効果」PRI Discussion Paper Series (No.12A-15)
- Chinn, M.D. (2005). “A Primer on Real Effective Exchange Rates: Determinants, Overvaluation, Trade Flows and Competitive Devaluation.” NBER Working Paper, No. 11521.
- Jackson, J.K. (2011). “Outsourcing and Insourcing Jobs in the U.S. Economy: Evidence Based on Foreign Investment Data.” Congressional Research Service Report.
- OECD (2007). *Offshoring and Employment: Trends and Impacts*.

- Salem, S., Bloodgood, L., Wohl, I. and Jabara, C. (2011). "Trade, Offshoring and U.S. Multinational Employment in the Manufacturing Employment in the United States, 1999-2008." Industries Analysis Seminar Series, United States International Trade Commission.
- Yamashita, N. and Fukao, K. (2009). "Expansion Abroad and Jobs at Home: Evidence from Japanese Multinational Enterprises." *Asia Pacific Economic Paper* No. 377.

### 第3節について

- 浅井孝明、石井健 (2003) 「炭素繊維市場の動向」『第一生命経済研レポート』第一生命経済研究所
- 天野倫文 (2003) 「海外生産シフトと地域生産組織の再編 - アルプス電機の事業戦略と下請組織への影響 - 」『経営研究所論集』東洋大学経営研究所
- 石倉洋子 (2012) 「新しい時代に新しい組み合わせを」『生活福祉研究 通巻 81 号』
- 大澤直人 (2002) 「最近の雇用調整の特徴---- 労調・雇用者と毎勤・常用労働者の乖離に着目して---- 」日本銀行経済点描
- 大澤直人・神山一成・中村康治・野口智弘・前田栄治 (2002) 「わが国の雇用・賃金の構造的変化について」日本銀行調査月報 2002 年 8 月号
- 経済産業省 (2010) 「今後の繊維・ファッション産業のあり方」
- 佐々木健一、梶山 裕介 (2011) 「炭素繊維事業から見る日本材料事業の強みの再評価」『NRI Management Review Vol.26』
- 産業構造審議会繊維産業分科会 (2003) 「日本の繊維産業が進むべき方向ととるべき政策 - 内在する弱点の克服と強い基幹産業への復権を目指して - 」
- 産業構造審議会繊維産業分科会 (2007) 「繊維産業の展望と課題 技術と感性で世界に飛躍するために - 先端素材からファッションまで - (中間とりまとめ)」
- 鈴木英之 (2006) 「ジニ係数の要因分解手法の検討と地域間賃金格差への適用」日本政策投資銀行地域政策研究 Vol.19
- 高川泉・亀田制作 (2008) 「わが国における個人企業の動向とその背景」日銀レビュー
- 株式会社ダイヤモンド社 (2012) 「家電敗戦 失敗の本質」週刊ダイヤモンド 6 月 9 日号
- 株式会社ダイヤモンド社 (2012) 「シャープ非常事態」週刊ダイヤモンド 9 月 1 日号
- 株式会社東レ経営研究所 (2012) 「平成 23 年度中小企業支援調査 サプライチェーンを見据えた高性能繊維およびその活用・加工技術の実態調査」

- 東洋経済新報社 (2012)「特集 ソニー シャープ パナソニック ザ・ラストチャンス」週刊東洋経済 5月19日号
- 中村智彦 (2010)「大阪湾臨海地域における新規企業立地とその影響について」『経済文化研究所年報』神戸国際大学経済文化研究所
- 永井知美 (2011)「重電・インフラ需要拡大の追い風を受ける総合電機メーカー - 日立製作所の昇降機事業、三菱電機のファクトリーオートメーション事業の事例に見る総合電機メーカーの「つなぐ力」 - 」『経営センサー』株式会社東レ経営研究所
- 西野浩介 (2012)「日本のエレクトロニクス産業 - 危機に直面する産業から読み取れるもの - 」三井物産戦略研究所
- 日本銀行調査統計局 (1991)「最近におけるわが国労働市場の変化とその影響について」日本銀行月報 1991年5月
- 日本銀行調査統計局 (1993)「最近の雇用情勢と今後の展望」日本銀行月報 1993年3月号
- 日本銀行調査統計局 (1994)「わが国の雇用システムについて」日本銀行月報 1994年3月号
- 日本銀行調査統計局 (2010)「正社員の企業間移動と賃金カーブに関する事実と考察 日本の雇用慣行は崩れたか? 」日本銀行調査論文
- 服部良太、前田栄治 (2000)「日本の雇用システムについて」日本銀行調査論文
- 古金義洋 (2011)「企業の海外進出が雇用に及ぼす影響について 米国の経験からみた空洞化問題の一考察 」『共済総合研究 Vol.64』、2012年3月
- 毎日新聞社 (2012)「電機 勝利の方程式」週刊エコノミスト 5月29日号
- 前田栄治、肥後雅博、西崎健司 (2001)「わが国の「経済構造調整」についての一考察」日本銀行調査論文
- 行本勢基 (2005)「製造業と地域雇用 海外生産が進展する中での地域戦略 」TORCレポート 26
- 渡辺純子 (2008)「通産省の需給調整政策 - 繊維産業の事例」京都大学大学院経済学研究科